

クリエイティビティー（創造性）を發揮するには？

ビジネスで成功するためには、アイデアがすべてです。「お金がないのが問題ではない。アイデアがないのが問題です。」なぜなら良いアイデアがあれば、ベンチャー・キャピタルなどの投資機関がお金を投資してくれるからです。

では、どのようにアイデアを出せばよいのでしょうか？このアイデアを出す、クリエイティビティー（創造性）を發揮するには、どうしたらよいかを今日は考えてみます。

「人は、その人の内側に、すべてを自ら選択する力を持っている」という基本的な考え方を私は、持っています。外側からの刺激に反応するのではなく（これを外的コントロール、またはアウトサイドインと呼ぶ）、外側の刺激があっても、その人の内側から、その人自らが選択しているという考え（これを内的コントロール、またはインサイドアウトと呼ぶ）です。

このことを本当に理解すると二つのことが明確になります。まず自分が完全に「自由」であるということです。「思考」と「行動」を自分の自由にコントロールできます。「思考のコントロール」は、事実の一つですが、解釈は無数にできるということです。すべてをポジティブに解釈することによって人生が切り開かれます。「行動」も自由にコントロールすることができます。すべては選択できるのです。従って、今ある状況は、その人のすべての選択の結果といってもいいでしょう。私たちのすべては、言葉ではなく、行動によって表現されるのです。理論ではなく行動（実践）がすべてです。

もう一つは、他人をコントロールすることはできないということです。他人も自分と同じように「その人の内側に、すべてを自ら選択する力を持っている」と考え、外的コントロールは使いません。外側からの刺激で動かすのではなく、その人が最善の選択ができるように助けるのです。これをリード・マネージメントと呼びます。これに対して、上から下に命令するのをボス型マネージメントと呼びます。「コーチング」が流行っているのも、その人の内側に力があるということで、それを引き出すこと（インサイドアウト）が、外側から教える（アウトサイドイン）よりも意義があるということからきていると思われる。

クリエイティビティー（創造性）の本質は、この「選択力」にあります。自分がいつも自由であるとアイデアが出やすく、それを行動に結びつけることができます。また他人の「選択力」を尊重することによって、他人の創造力を發揮させることができます。

上記の考え方に加えて、「潜在能力」の活用こそが、真のクリエイティビティーの本質でしょう。潜在能力には無限の可能性があるので。その潜在能力を活用する鍵が、「音」にあります。「音」から無限の想像力を働かせることができます。実は、目で見ると、耳で聴くほうが、はるかに想像力が發揮でき、想像力から創造力は生れるのです。

目に見える顕在意識に対して、目に見えない「潜在意識」は、目に見えない「音」と呼応していると考えられないでしょうか？私は潜在能力を活用する鍵は、「音」にあると考えています。良い音楽を聴く、また「速聴」などの普段よりも早い速さの「音」を聴くことによって、脳を刺激して、潜在能力を開き、さまざまなアイデアを引き出すことができると思います。私がバイオリンの演奏を始めたのも、その理由です。